

目次

1 ..... 1

2 ..... 2

3 ..... 3

4 ..... 4

5 ..... 5

6 ..... 6

7 ..... 7

8 ..... 8

9 ..... 9

10 ..... 10

自治会のデジタル化に関するアンケート調査  
集計結果

## 目次

目次	1
目的	2
自治会におけるデジタル技術の導入について	3
自治会活動や運営に係るデジタルツールの有効性について	5
デジタルツールの活用について	6
デジタル技術の導入に向けた障壁	7
デジタル技術の導入に向けた支援、サポート	8
デジタル技術の導入に向けた課題	9
その他	10

### 1.目的

近年、時代とともに自治会の情報共有や意思決定の方法などの形態も変化しており、デジタル技術の導入は、地域のつながりを維持・発展させていく手段の一つとして活用されています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、新しい生活様式に合わせた自治会活動や運営を行う中で、デジタル化に向けた工夫をなされているところも少なくありません。

この調査は、各自治会のデジタル化における現状や課題を調査し、今後の自治会活動の支援に向けた参考資料とするため、実施いたしました。

### 2.調査対象

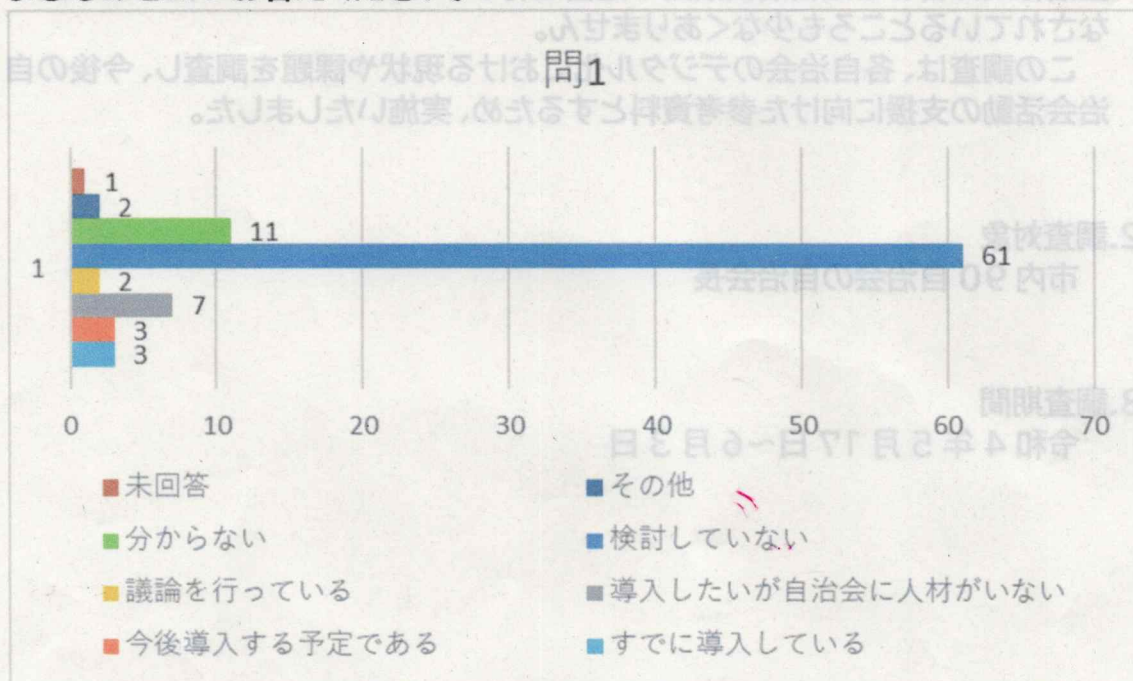
市内 90 自治会の自治会長

### 3.調査期間

令和 4 年 5 月 17 日～6 月 3 日

## 集計結果

問1. 貴自治会におけるデジタル技術の導入に向けた取り組みについて最も当てはまるものを1つお答えください。



### その他の回答

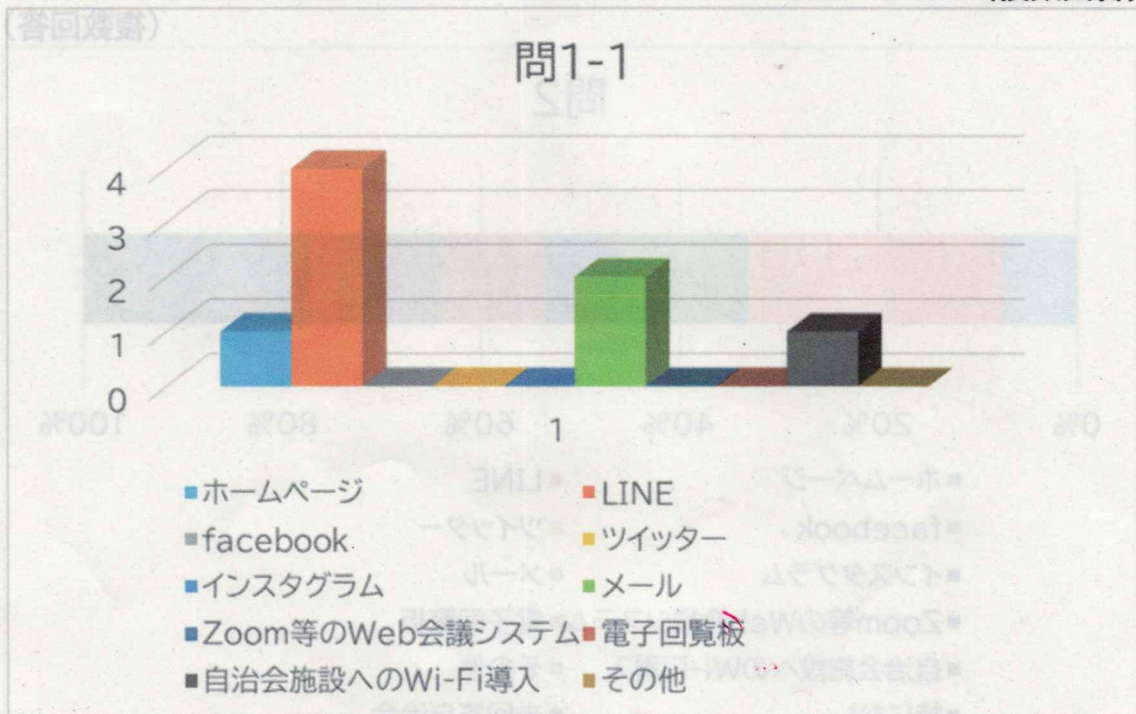
- ・自治会長の年齢が高齢化しているため、デジタル化の対応が難しい
- ・議論したことがない

○多くの自治会が「検討していない」、「分からない」との回答であったことから、個々の自治会のデジタル化の状況まで把握できていない、または実際にデジタル化が進んでいないといった傾向が見られた。

○「すでに導入している」、「今後導入する予定である」、「議論を行っている」と回答した自治会がいくつかあり、デジタル技術の導入に向けた関心が高まっていることや、導入に向けた動きがあることが伺えた。

【問1で(1.すでに導入している)、(2.今後導入する予定である)と回答した自治会のみ】どんなデジタルツールを活用していますか(する予定ですか)。

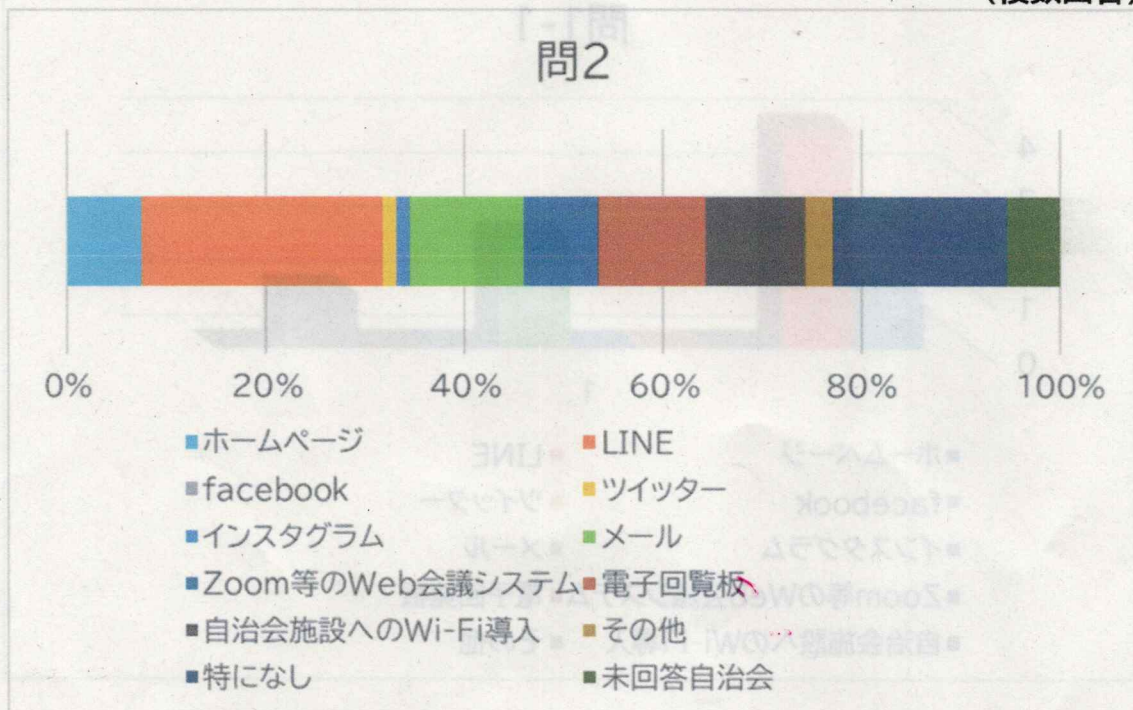
(複数回答)



○自治会が「導入している」または「今後導入する予定である」デジタル化の事例として、LINE、電子メール、ホームページ等が挙げられた。また、自治会施設へWi-Fiの導入も挙げられた。

○Zoom等のWeb会議システムや電子回覧板、その他Facebook、ツイッター、インスタグラムの活用を挙げた自治会は現段階ではなかった。

問2. 貴自治会の活動や運営では、どんなデジタルツールが有効だと考えていますか。  
 (複数回答)



その他の回答

- ・ショートメール
- ・防災無線を家庭で受信できる機器
- ・各項目のツール機能が分からないため答えられない
- ・デジタルツールは有効ではない

○問 1-1 で「導入している」、「今後導入を予定している」と回答した自治会もあった中、多くの自治会で自治会活動や運営における LINE の活用が有効であるとの回答があった。

○LINE に次いで、メールや電子回覧板、自治会施設への Wi-Fi 導入が有効であるとの回答が多く、ホームページや Zoom 等の Web 会議システムといった回答も多く挙げられた。

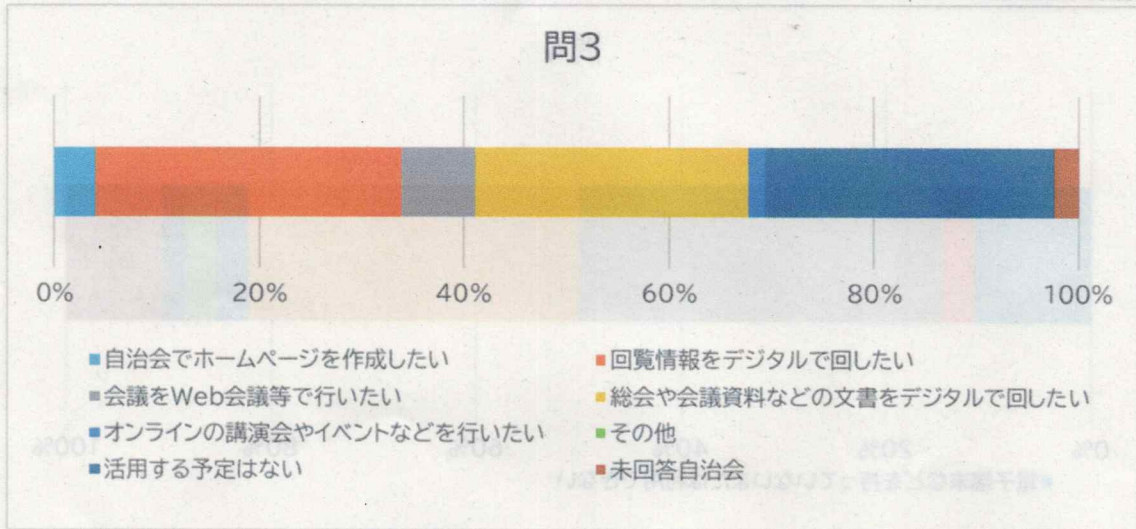
○Facebook やツイッター、インスタグラムへの回答は少なく、デジタルツールとして自治会活動や運営に有効な活用が見込めないとの考えが見られた。

○「特になし」との回答は全体の 17.5%であった。

問3.

4問

どのような場面でデジタルツールを活用したいですか(していますか)。(複数回答)



その他の回答

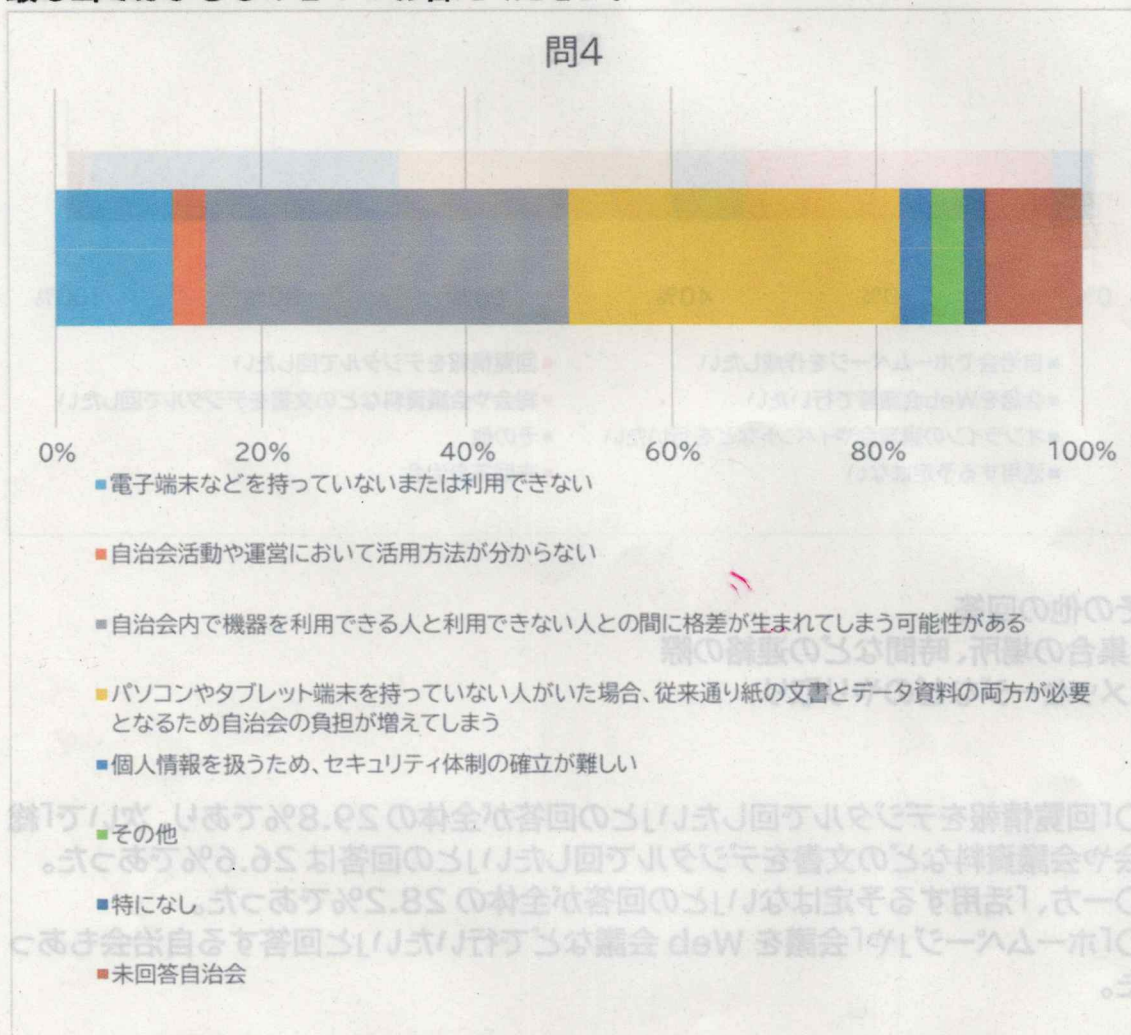
- ・集合の場所、時間などの連絡の際
- ・メッセージなどのやり取り

○「回覧情報をデジタルで回したい」との回答が全体の29.8%であり、次いで「総会や会議資料などの文書をデジタルで回したい」との回答は26.6%であった。  
 ○一方、「活用する予定はない」との回答が全体の28.2%であった。  
 ○「ホームページ」や「会議をWeb会議などで行いたい」と回答する自治会もあった。

#### 問4.

問

貴自治会において、デジタル技術を活用できない(できなかった)理由について最も当てはまるものを1つお答えください。



#### その他の回答

- ・デジタル技術を活用するにあたり、拒む人が必ずいる
- ・上記1～5のすべてが問題点として挙げられる

○「自治会内で機器を利用できる人と利用できない人との間に格差が生まれてしまう可能性がある」との回答が全体の35.4%と最も多く、デジタル技術の活用の難しさより自治会内での運用に課題があることが伺えた。

○「パソコンやタブレット端末を持っていない人がいた場合、従来通り紙の文書とデータ資料の両方が必要となるため自治会の負担が増えてしまう」の回答から、デジタル技術を活用しても自治会の負担が軽減できそうにないと思える自治会が多いことが伺える。

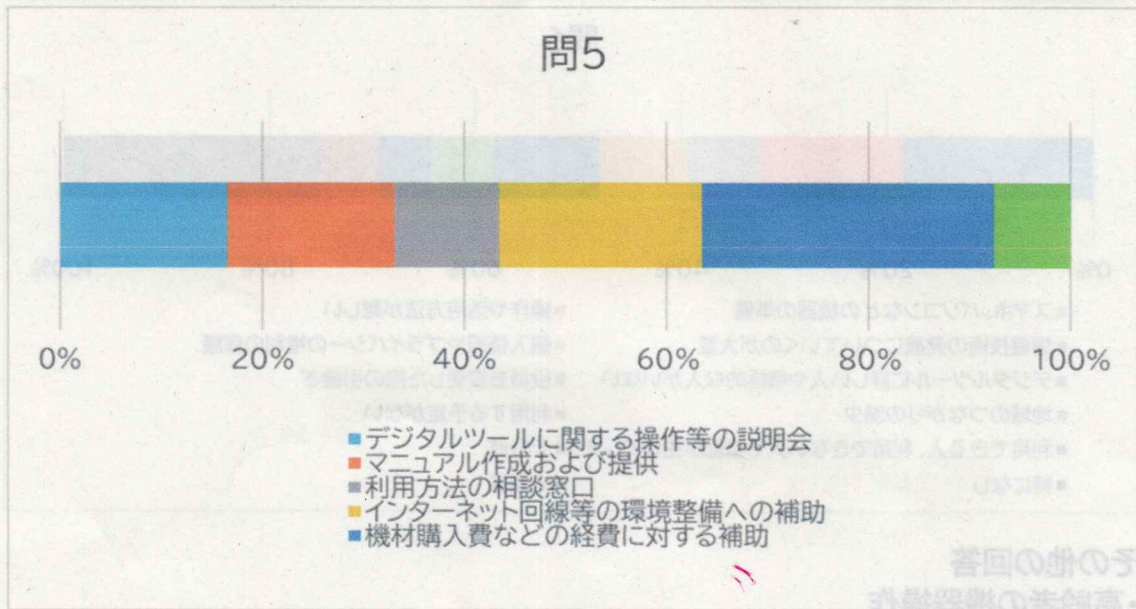


問5.

どのようなサポートがあれば導入しやすいと考えますか。

(答回複数)

(複数回答)



その他の回答

- ・市からの案内・説明
- ・自治会員への説明および資料
- ・電子端末の貸し出し
- ・上記の選択肢すべて
- ・導入しても活用できなければ意味がない
- ・何に活用するのか決まらなければ答えようがない
- ・特になし

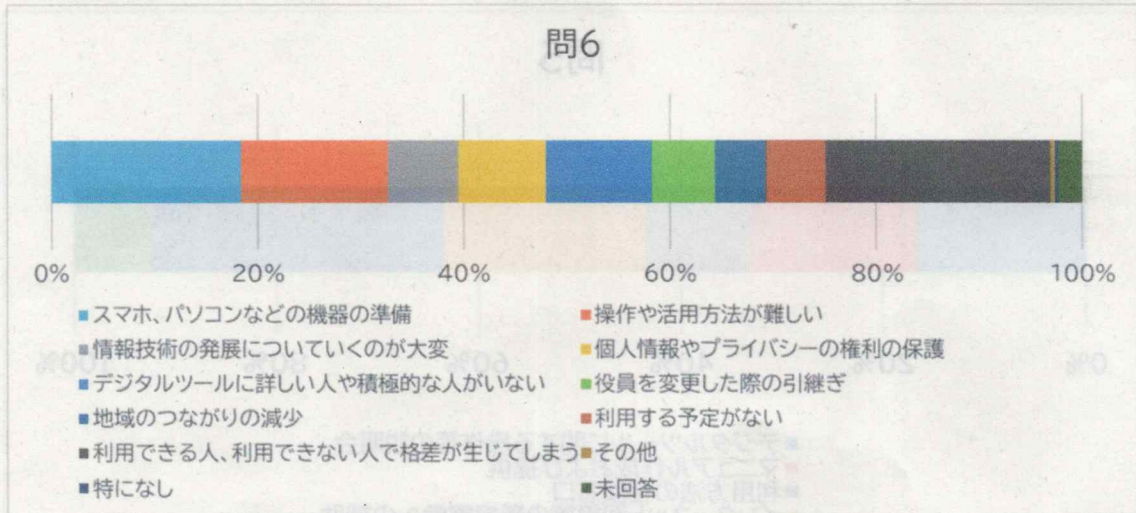
○「機材購入費などの経費に対する補助」があればデジタル技術を導入しやすいと答えた自治会が全体の 28.9%であり、補助金や助成金といった購入費のサポートがあれば導入しやすい自治会が多いことが分かった。

○「インターネット回線等の環境整備への補助」と答える自治会が全体の 20.0%と次いで多く、環境整備のサポートから導入に踏み出せる自治会もあることが分かった。

○「デジタルツールに関する操作等の説明会」、「マニュアル作成および提供」といったソフト面でのサポートがあればいいと回答する自治会は全体の 16.5%で同数あった中、「利用方法の相談窓口」のサポートがあればと答えた自治会も全体の 10.3%であった。

問 6.

デジタル化を進めるうえで、どのような課題があると考えていますか。  
 (複数回答)



その他の回答

・高齢者の機器操作

○デジタル化を進めるうえで、地域の中で「利用できる人、利用できない人で格差が生じてしまう」ことを課題と答える自治会が全体の 21.8%であった。次いで、「スマホ、パソコンなどの機器の準備」が全体の 18.3%であったため、機器の準備より、自治会内での調整の難しさが伺える。

○「操作や活用方法が難しい」回答する自治会が全体の 10.3%あった中、「個人情報やプライバシーの権利の保護」といった導入後の課題を回答している自治会もあった。

問7. JJと新築が川にひびきでアワサ。すま/思う式とくるなコ給うと公業券許許

デジタル化に関するご意見をご自由にご記入ください。

○肯定的

- ・広報や配布物がデジタル化すればコスト的にも助かると思います。
- ・高齢世帯が増加する中、デジタル機器を使える人とそうでない人が併存し、一律・均等に対応できない。そうした中で、導入については、将来的に検討はしたい。
- ・高齢化が進み、持っけていても上手に活用できない人もいる。スマホ、パソコンを持っていない家庭もある。デジタル化が進めば早く活動できると思う。デジタル化を進めるには勉強会などしてみたらどうか。
- ・難しい問題だが、コロナ禍の中での課題でもあり、導入できるなら前向きに検討していきたい。特に防災の観点からも必要不可欠になってくると考えます。
- ・自治会を取り巻く地域組織は多岐に渡る。現在情報は回覧によることが多い。
- ・各組織の活動内容やスケジュールなど電子化が有効。少なくとも組織代表間では電子化すべき。
- ・地域の高齢化が進んでいます。まだまだ紙ベースでの連絡が主です。若い人はスマホは常識となっています。この辺りを有効活用したいと思います。
- ・デジタル化を推進するのであれば、利用方法の勉強会を設けてほしい。
- ・学校のデジタル化を強化して行くことにより、地域のデジタル化にも繋がっていくのではないか。
- ・広報や回覧とか Web でできるようになると助かります。(ケーブル TV 回線を利用、各戸の TV をモニターにしたチャンネル登録方式など)

○否定的

- ・高齢者が多く自治会内で機器を利用できる人、利用できない人がいるので導入は難しい。
- ・自治会としてはデジタル化の利便性を認識しているが、利用者側の課題として、操作に不慣れな人や PC・スマホなどの機器を所有していない高齢者、自治会活動に無関心な若年層世代にどう広めていくかなど、その対応に苦慮している。
- ・IT 化を進めながらも従来の紙資料や紙での回覧板による周知も並行的に進めざるを得ない状況である。自治会活動の回覧板周知の他、地区防災計画は全世界帯に冊子で配布するとともにホームページに PDF でダウンロードし閲覧できるよう両方面で対応している。
- ・世間がデジタル化に向かっている中でこのような提案があることは理解できるが、地域活動こそ対面で行うべきと思う。また、電子端末など使える・使えない、ある・なしで地域ではない単位での自治会になる可能性もあり得る。(自治会長の主観です。)
- ・現在、30 歳から 40 歳代が自治会活動の中心になってくれればデジタル化も可能かと思います。今の組長が組内を回るのは大変かも知れませんが、つながりや

情報収集などで為になることだと思います。何でもデジタル化が素晴らしいとは思えません。

- ・IT系に弱い人が多いので難しい。
- ・デジタル化にすることは良いことですが、ツール等の操作及びLINEすらできない人が多いため無理ではないか。
- ・小さな自治会なので必要ない。
- ・デジタル化を利用できる人、できない人がいるので難しいと考えます。
- ・役員が毎年入れ替わるので定着しにくい。
- ・デジタル化は良いことであると思うが、自治会で行うとなると難題である。

○どちらでもない

- ・自治会でのデジタル化の良い点・悪い点については利用できる人に判断してもらおう。
- ・今までに話題に上っていない。
- ・利点が説明できるか。
- ・作成する側の利点ではなく使用する側の利点で
- ・デジタル化の有効性は理解できるが、導入については積極的ではない。

その他

- ・防災無線のシステムが変わってから、スピーカーからの音声は今までどおりの聞こえ具合であるのに対し、家庭での受信が従来の機材ではできなくなり代替期の案内もない。高齢者が多いので、まずはそうした点を改善した方が良いと思う。
- ・情報のセキュリティ対応は大丈夫なのですか。
- ・高齢化が進む中、年に数回しか会合に参加する必要のない自治会員が、どれだけ操作方法を習得できると思われますか。
- ・導入する場合の費用負担はどうするのですか。
- ・デジタル化会合にした場合、参加できなかった人、接続しなかった人に対してのフォローをどのように考えていますか。
- ・デジタルツールを理解する人がほとんどなく自治会長という役職を引き受ける人がいなくなる。まずは、理解度を高めることが必要。
- ・自治会ホームページがあればベター。
- ・機器の有無や活用に課題があり、当面は紙ベースと併用する。
- ・自治会内で技能を有する人材の発掘が必要。
- ・デジタル化ということについて勉強不足のため理解していないので、意見を言うことができません。
- ・自治会を運営する役員が高齢であるため、問5全てを充たさなければ導入できないのではないか。
- ・年齢層がまちまちである。
- ・各個人がPC、スマホで都留市ホームページを検索して各地区の情報を得られないか。
- ・コロナ禍に於いて学校や市役所等がどのようにデジタル化してきたのか教えて

もらいたい。

・住民の大多数が年金生活者のような本自治会では、機器が揃っても利用できない家族が多いのではないか。

・マイナンバーカードが便利なツールと説明していたが、いまだに本人確認資料しか恩恵がないように、これを利用してこれだけの利点がありますと説明できない限り難しいのではないか。

・有効に活用すべきだが、自治会員の理解が得られるかが不安である。